

WCRP 日本委員会 「おうえんプロジェクト for くまもと」 支援団体一覧 (2017年3月17日発表)

| No. | 団体名・グループ名 | 活 動 | 所在地 | 申請額 |
|-----|------------------------|---|-------------|------|
| 1 | 大山桂司グループ | 全盲でシンガーソングライターの大山桂司氏が、熊本市や益城町の仮設住宅・福祉施設で、音楽を演奏。音楽の力で視覚障害者の理解促進を目指す。 | 熊本市 中央区 | 20万円 |
| 2 | 支援の「わ」(シエンノワ) | 災害に強いコミュニティを作るため、熊本市内や益城町において、防災・減災・災害復興などさまざまな支援を行う団体。家屋の片付け・救出活動や地域の神社仏閣を復旧させる活動、仮設住宅での自治会運営を応援する活動など。受援者から支援者へ、支援の「環」を広げることを大切にしている。 | 上益城郡 益城町 | 20万円 |
| 3 | FSC 復興支援センター 「うきのわ」 | 元々東日本大震災後に移住してきた人たちを支援するために発足。熊本地震後は、復興支援のためのセンターを設置。宇城市の仮設団地における傾聴活動をはじめ、タケノコ掘り、ソーメン流しなどのイベントを開催して、被災者の心のケアと地域の活性化を目指す。 | 宇城市 豊野町 | 20万円 |
| 4 | 合志市障害者親の会 「虹の会」 | ダウン症の女性が作成した刺し子の展示会および、モンゴル出身の馬頭琴走者(トウ・マイラス氏、福岡在住)を招いたイベントを合志市で開催(6月か7月を予定)する。地震後の日常の再構築と心身の疲れを癒し、心のゆとりを取り戻す中で、他者とりわけ最も弱い立場にある人に、理解の目を向けていただくことが目的。 | 合志市 豊岡 | 20万円 |
| 5 | 熊本県自閉症協会 | 4月2日の「世界自閉症啓発デー」に合わせ、くまもと県民交流館パレアで、「あの日が教えてくれたことー明日への提言ー災害時の発達障がい児者への支援を考える」を開催する。自閉症や発達障がいのある当事者とその家族のための災害時お役立ちグッズの展示、特別支援学校保護者による実践発表、将来への提言発表などを行う予定。災害ボランティアや地域の民生委員、自治会役員などにご案内し、自閉症に関わる状況を知ってもらい、自閉症児者・発達障がい者が安心して | 熊本市 中央区 | 20万円 |

| | | | | |
|---|-------------------------|--|-------------|------|
| | | 暮らせるまちづくりについて共に考える。 | | |
| 6 | 一般社団法人 ともに生きよう設立準備会 | 益城町の仮設住宅、バリアフリー仮設住宅等で、障害者と被災者が共に楽しむ事のできる共生型スポーツ（卓球バレー、風船遊び）イベントやバーベキュー、小旅行などを通じて、互いに助け合うネットワークを構築する。本団体の代表である作本誠一氏は重度身体障害者であり、熊本地震では家が全壊し、避難所・病院7箇所を転々とた。行政と粘り強く交渉し日本初のバリアフリー仮設住宅6戸の実現に関与。現在そのバリアフリー仮設住宅に入居している。 | 上益城郡 益城町 | 20万円 |
| 7 | NPO 法人 熊本県難聴者中途失聴者協会 | 一般市民、行政・社協関係者等を対象に、難聴・中途失聴についての知識や支援方法を学ぶ講座を開催し、災害時にも当たり前に配慮・支援できる人材づくりを目指す。元々難聴・中途失聴は見えない障害のため、周りから理解されにくく、支援に結びつきにくい状況がある。熊本地震においても、聞こえないから仕方ないと我慢し、周りの人との交わりを控え、孤立する難聴者（特に高齢者）が多く見受けられた。 | 熊本市 南区 | 20万円 |
| 8 | 熊本地震聴覚障害者 支援対策本部 | 熊本聴覚障害者総合福祉センターを中心に、県内で聴覚障害者相談支援を行う。熊本地震では、県外から手話通訳者等の支援はあったものの、無期限というわけにはいかない。聴覚障害者が生活していく上で、問題を抱えていないか直接見聞きをしながら、必要があればアドバイスをするという活動を行う。 | 熊本市 中央区 | 20万円 |
| 9 | 熊本難病・疾病団体協 議会 | 難病患者および家族が、同じ病気や異なる難病を患う方々と交流する場「Kumanan Café」の提供。同じような環境にあるもの同士、つらい思いを共有することで気持ちが楽になり、病気を受容して、前向きな生活が送れるよう支援する。 | 宇土市 網津町 | 13万円 |

| | | | | |
|----|--|--|-------------------------|----------------|
| 10 | NPO 法人 ル・シエルくまもと 就労継続支援事業所 シャトレ | 学齢期を過ぎた自閉症スペクトラム障がいおよび各種の原因で、社会的不適応状態にある人たちの自立と社会参加に向けた支援活動を行う。具体的には、使われない着物を利用した裂き織り作業を行っており、作業所移転（健軍）などによる環境整備が必要。 | 熊本市 東区 | 20 万円 |
| 11 | 社会福祉法人 くまもと障害者労働セ ンター | 「おれんじカフェ」を運営する同センターが、熊本地震後、新たにお弁当の事業にチャレンジ。今回の支援で業務用 IH 炊飯器を購入する。活動する長嶺地域は福祉施設や病院などが多く、地域で一人暮らしをする障害当事者も多く住むため、見守りサービスを兼ねたリーズナブルな夕食の配食を希望する声が多く上がっている。 | 熊本市 東区 | 18 万 9324 円 |
| 12 | きばれ！あまくさシ ー | 高齢者や障害者を対象とした、被災家屋の解体に伴う家屋内の荷物運び出しと片付け支援を行う。活動地域は、被災地全域。要請に応じ、随時行っている。 | 天草市 五和町 | 20 万円 |
| 13 | ロハス南阿蘇たすけあ い | 南阿蘇村で、仮設住宅入居者の家財道具搬出を支援する。家財道具搬出を通して、被災者の経済的負担の軽減と心身の疲労を軽減する。 | 阿蘇郡 南阿蘇村 | 20 万円 |
| | | | 合計 251 万 9,324 円 | |